

平成 28 年度防府市図書館サービス振興基本計画実施状況の委員評価

記号の見方：●課題、○評価、・要望

1. 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館	2. 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館	3. 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館	4. 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館
<p>●実施状況に貸出者数や冊数を記入したほうが良い。図書館年報の登録者数や貸出者数についても年齢別等の内訳があると良い。</p> <p>●郷土資料の収集は今後も努力して欲しい。</p> <p>●計画中「職員・警備員・警察官等による館内巡回の実施」項目は、誰でも気軽に楽しく利用する図書館からは違和感がある。</p> <p>●レファレンスサービスの研修やフロアワークの実践について、どのような認識から実施され、今後実施する必要があるのか、具体的な研修内容も含めて示されると良い。また、他機関が行っている研修・講座等の活用も期待する。</p> <p>○計画どおり資料購入ができており、評価できるが、今後需要が増すとされる高齢者が活用する大活字本を増やすことが望ましい。</p> <p>○業務内容変更など積極的な姿勢がうかがえる。</p> <p>○文化振興財団の広報紙「イベントアイ」への掲載は、とても良い。</p> <p>○広報紙の中でも、「新刊紹介」「おすすめ赤ちゃん絵本」は、読書意欲を誘った。</p> <p>○カウンターでの対応やリクエストへの対応など、接遇に関する研修の成果があがっていると思う。</p> <p>○移動図書館車は、ステーションの見直しなどが効果を上げており、高齢化等の状況から、今後も移動図書館や地域文庫の充実を期待する。</p> <p>・来館者への声かけやアドバイスなどのレファレンスサービスの向上を望む。</p>	<p>●子ども読書フェスティバルは、主役であるはずの子どもたちの参加が少ないので、子どもたちが主体的に参加できるプログラムが必要ではないか。</p> <p>●毎年開催している行事には、見直しも必要ではないかと思う。各行事の評価と参加者が増えるような改善策についての考え方等が示されるとわかりやすい。</p> <p>●中学生や高校生とのコラボ企画を検討してみてもどうか。</p> <p>●行事への参加促進のための広報チラシ等は、内容がわかりやすいものやカラーにするなどの工夫が必要ではないか。</p> <p>●図書館職員から児童向けにPRする機会があると読書活動の推進や市立図書館の利用促進につながるのではないか。</p> <p>○子ども読書フェスティバルや図書館まつりが市民の間に定着していることは、ルルサスを活用して、各団体と連携を図るなど事務局の工夫の賜だと思う。</p> <p>○新たな図書館利用者懇談会の開催は、広く一般利用者の意見を聞くうえで有意義であるため、今後も継続し、図書館運営に活かして欲しい。また、このような会議の内容も公表されると良い。</p> <p>・図書館事業の展開において、ボランティアを必要とする機会も増えると思われるので、新たなボランティアの開拓と養成に取り組んで欲しい。また、障害のある利用者のためのボランティア講座の開催を期待する。</p> <p>・文化振興財団の文化施設でのノウハウを活かした対応を望む。</p>	<p>●館内の展示方法やその周知については、さらなる工夫が必要と思われるため、利用者やボランティアの意見も聞いて改善に努めて欲しい。また、図書館サポーター制の導入などの検討が必要ではないか。</p> <p>●図書館で活動している学習グループやボランティアグループへの助言や支援を望む。このような生涯学習グループが増えれば、行事の参加者が増加すると思う。</p> <p>○新たにボランティア連絡会議を設けたのは有意義であった。今後も継続し、サークル活動を進めるうえでの種々の要望や意見を図書館運営に活かすように努めて欲しい。</p> <p>○ボランティア養成講座は、非常に参考になった。ボランティアの周りの人たちへの声かけが、増員には効果的ではないかと思う。</p> <p>○資料展示や行事など、利用促進に向けた展示内容の工夫が見られるが、図書館を利用していない人への周知についても検討して欲しい。</p> <p>○館内3箇所での展示及びミニ資料展示は、来館者の利用促進につながる素晴らしい取組みだと思う。また、毎回テーマを決めた資料展示は、利用者の読書欲を促して良いと思う。</p> <p>・高齢化が進む中、生涯学習活動の重要性は高まっており、生涯学習の拠点として図書館の果たす役割は大きいので、さらに力を入れて欲しい。</p> <p>・子供向け、大人向けや、季節に応じた展示を今後も期待する。</p>	<p>●郷土資料の収集は難しいと思うが、研究をしている人には大事な資料であるため、寄贈していただくようPRが必要なのではないか。また、刊行情報等の収集手段の例示があると方向性が明確になる。</p> <p>●地域資料については、後継者の養成と職員の研修が最も重要となり、今後の事業展開のためにも職員育成は必須である。また、研修の具体的な内容が示されると良い。テーマによる研究に励むことも大切であり、郷土資料の主題別のリスト作成や資料紹介等も職員の養成につながる。</p> <p>●外国語・外国文化の基礎を理解するための職員研修のねらいや具体的な内容が示されると良い。</p> <p>●地域資料が散逸しないように、資料の収集・整理・保存・提供は、当該地域の公共図書館の使命だと思う。</p> <p>○「上山満之進翁関係資料」及び「防府史料」を電子化し、公開していることは高く評価されるべきだと思う。</p> <p>・防府市がセルビアのホストタウンとして登録したのを機に、オリンピックに向けて関係図書の実質を望む。</p> <p>・地域が誇る先人や文化人をもっと顕彰して欲しい。</p> <p>・郷土意識を深めることが、暮らしやすく文化的に高まることにつながると思われるので、積極的な収集を望む。</p> <p>・市民の要望や市民に知らせたい歴史や文化等に関する資料及び必要度の高い資料から、意図的、計画的に収集して欲しい。</p>

5. 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館	6. 子どもたちの読書活動を進めていく図書館	7. 障害者や高齢者に優しい図書館
<p>●図書館は、単に本を貸すだけでなく、文化発信の場としてのアピールがもっと必要ではないかと思う。</p> <p>○学校とのネットワークシステムが稼動したのは大きな前進である。今後は、学校図書館等との連携や流通システムなど、その運用がさらに充実され、児童生徒に多くの情報が提供されることを望む。</p> <p>○他の図書館との資料相互貸借やレファレンス協力が進んでいることは良いことである。今後も国立国会図書館や県立図書館等との連携協力、情報交換や研修参加などにより、図書館サービスの充実・向上に努めて欲しい。</p> <p>○文化振興財団内部の連携により事業の幅が広がったことは、評価できる。事業協力や情報交換が進められることによる文化事業展開に期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域文庫の利用状況を示して欲しい。 ・全小学校に対してネットワークシステムへの対応や指導ができる常勤の司書教諭の配置による支援が望まれる。 ・文化振興財団内の連携事業として、例えば、ソラールで開催されている科学教室の1回を図書館で開催することなどを期待する。 	<p>●図書館職員が児童向けに市立図書館をPRする機会があると良い。図書館が子どもたちにとっていつも身近な存在であるよう、様々な機会を通じて浸透させていくことが重要。</p> <p>○子ども図書館員は、子どもの読書活動につながる取り組みだと思う。</p> <p>○ビブリオバトルは、実施方法等には、もう少し研究の必要を感じた。ヤングアダルトサービスの一環として高校図書委員との連携も期待する。</p> <p>○図書館のサークルとの協働による図書館職員のおすすめ絵本紹介など、積極的な読書推進の働きかけができています。児童コーナーの飾り付けなどは、学校図書館ボランティア等の支援を得ることも検討されたい。</p> <p>○市立図書館と学校図書館との一体的な管理運営体制ができ、学校図書館の司書や施設など子どもたちの読書・学習環境の充実を期待する。また、学校図書館支援専用図書の継続的な整備を希望する。</p> <p>○インターネット等の活用が盛んになる一方、親御さんの読書への興味関心が薄くなっていくような傾向がみられるだけに、乳幼児期から本に親しむ機会の充実や保護者への働きかけは、極めて大切である。図書館の取り組みは、時宜を得ており、今後ますますの充実と拡大に向けた努力に期待する。</p> <p>○学校図書ボランティアネット・防府の研修会は、好評だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生や高校生とのコラボ企画を考えてみてはどうか。 ・ビブリオバトルの参加者の年代層が幅広く、紹介された本に興味を持つことができた。今後も続けて欲しい。 	<p>●急速に高齢化社会が進展する中、図書館の高齢者サービスの重要性が増すとともに、利用者に高齢者の占める割合が増加しており、職員の高齢者へのサービス内容やクレーム対応等研修も必要となる。</p> <p>●障害者、高齢者の利用促進には、サポート体制の充実が重要であるため、ニーズを調査する必要があるのではないかと。館内の点字図書・大活字本が利用しにくい場所にあるように思われるが、利用しやすいサービス・支援体制を整えて欲しい。駐車場の利用も不便ではないかと思う。</p> <p>●障害者サービスに係る周知について、効果ある方法等も含めて、さらに取り組んで欲しい。また、障害のある利用者のためのボランティア講座の開催を期待する。</p> <p>●福祉・保護的な活動に特化するのではなく、元気な高齢者を含めた健康寿命促進のために、生涯学習施設として図書館が貢献できることのPRや事業の検討も必要である。</p> <p>○市立図書館は、誰もが気軽にできる方策が必要であるが、ハード、ソフト面から計画に基づいた取組が展開されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は認知症高齢者の増加への対策にも配慮していくことが望まれることから、心理療法としての回想法なども研究して欲しい。 ・文字等を拡大して読める機器の導入があれば良い。

平成28年度 防府市図書館サービス振興基本計画 実施状況評価(案)

資料2

- 評価基準
- A: 計画通り実施し、一定の成果があった。
 - B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
 - C: 不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった。

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1)市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館			
H28年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年間図書購入目標冊数11,000冊(一般8,300冊、児童2,500冊、郷土関係130冊、その他70冊) ・年間視聴覚資料購入目標点数115点(CD100点、DVD15点) 		
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入冊数13,561冊(一般9,964冊、児童3,506冊、郷土関係81冊、その他10冊) CD購入点数100点、DVD購入点数17点 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土関係資料の発行に関する確・迅速な情報収集と対応 		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としては概ね計画通りの適正な資料購入ができたが、郷土関係その他の資料の購入冊数は目標の冊数に達しなかった。郷土資料の刊行情報の収集に努め、積極的な資料収集に取り組む必要がある。 	評価	B
(2)老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館			
H28年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」を毎月発行 ・「図書館年報」を発行 ・開館時間等の拡大に伴い、内容を一部変更して「図書館利用案内」等のリーフレットを発行 ・指定管理者制度導入や開館時間延長に伴うホームページの内容変更 ・図書館管理室を通じ市広報「ほうふ」を活用 ・図書館まつり、子ども読書フェスティバルの開催 ・図書館利用マナーリーフレット等の作成 ・職員・警備員・警察官等による館内巡回の実施 ・接遇に関する職員研修の実施 		
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度館外個人貸出者数146,367人、館外個人貸出冊数582,899冊 ・「ほうふ図書館だより」(A4版 4頁)「ほうふとしょかんこどもしんぶん」(A4版 2頁)「新刊紹介」(A4版 2頁)を毎月発行 ・「図書館年報」平成27年度版(A4版 22頁)を発行 7月30日 ・開館時間等の拡大に伴い、内容を一部変更して「図書館利用案内」等のリーフレットを発行 ・指定管理者制度導入や開館時間延長に伴いホームページの内容を変更 ・図書館管理室を通じ市広報「ほうふ」に定期的に記事を掲載 ・第6回防府市子ども読書フェスティバルを開催(5月29日)参加者数280人 ・第26回防府図書館まつりを開催(10月15日)参加者数3,000人 ・夏休みにマナーアップキャンペーンを実施、図書館利用マナーリーフレット等を作成 ・職員・警備員・警察官等による館内巡回を随時実施 ・施設管理会社と毎月定期協議を実施、施設管理に関する日報や業務報告書を提出させた。 ・館内機械警備システムの補強を12月13日に実施 ・接遇に関する職員特別研修を実施(11月1日)、通常研修は毎日の朝礼等で実施 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の内容のレベルアップ、広報の対象や方法等の見直し 		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通り実施できた。 	評価	B

(3)図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館			
H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」の運行 ・「地域文庫」、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)の運営 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」 6コース35ステーション運行 ・平成29年度に向けて、ステーション、コースを見直し、平成29年4月からのステーションを36箇所にした。 ・「地域文庫」15か所、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」) 101団体運営 		
課題等	・移動図書館ステーションの利用度格差		
自己評価	計画通り実施し、貸出者数が388人、貸出冊数が1,650冊、ともに増加した。	評価	A
(4)調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館			
H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス充実のための職員研修実施 ・レファレンス事例集の作成 ・読書案内サービスの強化 ・パスファインダーの作成 ・フロアワークの推進 ・資料検索システム、Web目録等の内容整備 ・利用者開放インターネットサービスの整備 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス充実のための職員研修を実施 ・レファレンス事例記録を随時記入 ・読書案内サービスを随時実施 ・パスファインダー・ミニブックリストを随時作成 ・フロアワークを随時実践 ・資料検索システム、Web目録(OPAC)等の内容整備を、12月22日の図書館コンピュータシステム更新に伴い実施 ・利用者開放インターネットサービスの整備を、12月22日の図書館コンピュータシステム更新に伴い実施 		
課題等	・職員のレファレンス対応能力の向上		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

【コメント(案)】
 計画に沿って適正な資料購入が行われており、評価できる。郷土資料の収集にも努力を望む。
 高齢化が進むと大活字本の需要が増すと思われるため、購入の拡大を望む。
 移動図書館の利用が増加していることは評価できる。地域文庫も含めて今後も更なる充実を期待する。
 接遇研修の成果が見られるが、まだ十分ではない。フロアワークの充実も望む。

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・防府市子ども読書フェスティバルの開催 ・防府図書館まつりの開催 ・図書館利用者懇談会の開催(年1回開催) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回防府市子ども読書フェスティバルを開催(5月29日) 参加者数280人 ・第26回防府図書館まつりを開催(10月15日) 参加者数3,000人 ・図書館利用者懇談会を開催(2月10日) 参加者数9人 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の参加者数を増やしていくための対策 		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(2月～3月 4回開催) ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(年1回開催) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(2月17日) 参加者数16人 ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(3月9日)参加者数20人、(3月13日)参加者数28人、(3月16日)参加者数19人、(3月23日)参加者数19人 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティアの養成とスキルアップ 		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

【コメント(案)】

図書館まつりは市民に定着しているが、子ども読書フェスティバルは、子どもの参加者を増やす方策が必要である。

平成28年度から図書館利用者懇談会と図書館ボランティア連絡会議を開催したことは有意義であった。

毎年開催している行事も見直しを行い、中学生や高校生とのコラボレーション企画などの新しい試みも検討すべきではないか。

行事の広報用チラシ作成にも工夫が必要である。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

H28年度 事業計画	・毎月テーマを決めて行う館内3箇所以上での図書館月例資料展示の実施 ・新たな図書館行事の展開		
事業実施 状況	・毎回テーマを決めて、館内3箇所での月例資料展示を35回、ミニ資料展示を32回実施 ・平成28年度からの新規図書館行事として、「利用者懇談会」「ボランティア連絡会議」「ビブリオバトル」を開始		
課題等	・資料の利用促進に結び付く展示内容の工夫		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

H28年度 事業計画	・新たな生涯学習グループ活動の奨励		
事業実施 状況	・平成28年度の新規登録団体2団体		
課題等	・図書館が生涯学習グループ活動に機会と場を提供していることの広報・周知		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【コメント(案)】

館内の展示やその周知には更なる工夫が必要である。利用者やボランティアの意見を聞いて改善に努めて欲しい。

ボランティア連絡会議により、サークル活動を進めるうえでの要望や意見を把握し、支援を行うなど図書館運営に活かして欲しい。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H28年度 事業計画	・年間郷土資料収集目標冊数560冊		
事業実施 状況	・平成28年度郷土資料収集冊数389冊、内購入81冊、寄贈308冊		
課題等	・郷土関係資料刊行についての的確、迅速な情報収集、調査研究、及び職員研修の強化		
自己評価	郷土関係資料の収集冊数が目標冊数を大きく下回った。そもそもの出版点数が少なかった可能性もあるが、今後、あらゆる手段を用いて刊行情報の収集に努め、積極的な資料収集に取り組む必要がある。	評価	C

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

H28年度 事業計画	・防府史料第66集の刊行・電子書籍化 ・上山満之進の顕彰と三哲文庫の事績の後世への継承		
事業実施 状況	・防府史料第66集『西浦新開作の誕生と撫育方』を刊行(3月25日)、ホームページに掲載 ・上山満之進の顕彰と三哲文庫の事績の後世への継承に関して、パンフレット「防府図書館75年の歩み」を10月に刊行し関係記事を記載、各方面に広く配布		
課題等	・後継者の養成と職員の研修		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H28年度 事業計画	・春川市立図書館との資料交換事業 ・日本語・日本文化学習のための資料の収集・整理・保存・提供		
事業実施 状況	・春川市立図書館から寄贈された図書100冊を受入登録 ・春川市立図書館へ図書100冊を寄贈 ・日本語・日本文化学習のための資料を、随時収集		
課題等	・外国語・外国文化の基礎を理解するための職員研修の実施		
自己評価	概ね計画通り実施できた。	評価	B

【コメント(案)】

郷土資料の収集・提供には職員の研修が最も重要であるため、広く情報を得る努力と研修の充実を望む。また、地域の出版物等を寄贈してもらえるようPRも必要である。
「防府史料」の電子化と公開は、高く評価できる。
郷土資料の主題別リストの作成や、資料紹介、地域の先人や文化人等の顕彰等行うことも期待する。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのネットワーク・システム構築可能な図書館コンピュータシステムへの更新(12月) ・小中学校への図書館利用カードの発行と利用促進 ・学校司書の研修機会や場の提供の拡大 ・学校、児童館等への団体貸出(貸出文庫)の拡大 ・リクエスト対応等による地域文庫サービスの内容充実 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのネットワーク・システム構築可能な図書館コンピュータシステムが稼働(12月22日) ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムが稼働(2月1日) ・学校司書のための著作権講習会を開催(9月12日) ・学校司書の研修機会や場の提供 ・団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)101団体運営 ・地域文庫からのリクエストに随時対応 		
課題等	・学校図書館とのネットワーク・システムの積極的な活用による学校支援の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・資料相互貸借、レファレンス協力の推進 ・県立図書館の研修講師派遣事業の活用 ・防府市文化振興財団内連携部会の設置 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・資料相互貸借、レファレンス協力について随時対応 ・県立図書館の講師派遣レファレンス研修他、他の図書館や防府市文化振興財団内の他機関と連携した職員研修を実施 ・防府市文化振興財団内連携部会会議を8月から毎月1回開催、連携事業について検討 ・資料展示等で防府市文化振興財団内のアスピラートやソラールと連携 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」加入登録に向けて準備を整えた。 		
課題等	・他の図書館等との情報交換を密にして、サービス向上につながる情報を積極的に入手すること		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【コメント(案)】

学校図書館とのネットワークが構築されたのは、大きな前進であるが、今後はその運用の充実を望む。

文化振興財団内部の連携による事業展開に期待したい。

国立国会図書館等との連携によるサービスの充実に努めて欲しい。

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動推進に係る講演会の開催 ・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の実施と募集対象の拡大 ・児童サービス向上のための職員研修の実施 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動推進に係る講演会「子どもと絵本をたのしむ」(講師:土居安子)を、防府市子ども読書フェスティバルの中で開催 参加者数80人 ・教育総務課と図書館の連絡調整会議を毎月1回定期開催 ・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の募集対象を小学生のほかに中学生にも拡大(応募点数 小学生19点 中学生17点 計36点) ・児童サービス向上のための職員研修を実施 ・「ビブリオバトル」を開催(2月26日) 参加者数25人 		
課題等	・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の応募数の伸び悩みと学校との連携		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(2月～3月 4回開催) ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(年1回開催) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催(2月17日) 参加者数16人 ・「図書館ボランティア養成講座」を開催(3月9日)参加者数20人、(3月13日)参加者数28人、(3月16日)参加者数19人、(3月23日)参加者数19人 ・学校図書ボランティアネット防府と合同研修の実施(6月22日・2月23日) 		
課題等	・ボランティアとの協働の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた。	評価	B

【コメント(案)】

図書館が子どもたちにとって身近な存在であるよう様々な機会を通じて浸透させていくことが重要である。職員が児童向けに図書館をPRするなどの取組みを望む。

児童コーナーのディスプレイには、ボランティア等への支援要請も検討すべきではないか。

新たな試みとしてのビブリオバトルは有効だが、今後は、実施方法などの検討が必要である。

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・点字図書、大活字本、各種視聴覚資料、布絵本の整備・充実 ・行政機関の広報担当部署、障害者高齢者サービス担当部署、点字図書館、社会福祉協議会等との連携強化 ・筆談によるサービス ・障害者用郵送貸出サービスの周知と推進 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・点字図書、布絵本についてはボランティアと連携協力して収集 ・大活字本、さわる絵本、各種視聴覚資料については購入 ・行政機関の広報担当部署、障害者高齢者サービス担当部署、点字図書館、社会福祉協議会等と随時連携 ・筆談によるサービスを随時実施 ・障害者用郵送貸出サービスを随時実施 		
課題等	・障害者サービスに係る周知・広報活動の強化		
自己評価	・概ね計画通り実施できたが、障害者が利用しやすい図書館にする工夫が必要。	評価	B

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に 行う図書館

H28年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等と連携協力した点訳資料、音訳資料、布絵本等の製作 ・障害者サービスを更に推進するための図書館コンピュータソフトの導入(12月) 		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等と連携協力して点訳資料、音訳資料、布絵本等を製作 ・障害者サービスを推進するための図書館コンピュータシステムが12月22日に稼働 		
課題等	・障害者サービスに係る職員研修の強化		
自己評価	・概ね計画通り実施できたが、障害者が利用しやすい図書館にする工夫が必要。	評価	B

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H28年度 事業計画	・障害のある利用者のためのボランティア活動への支援強化		
事業実施 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある利用者のためのボランティアが利用しやすい図書館コンピュータシステムが12月22日に稼働 ・音訳ボランティア「あいの会」と視覚障害者の図書館利用を促進するための協議をした。 		
課題等	・ボランティアとの連携協力体制の強化		
自己評価	・概ね計画通り実施できたが、障害者が利用しやすい図書館にする工夫が必要。	評価	B

【コメント(案)】

高齢者・障害者のニーズを調査し、利用しやすいサービスや支援体制を整えてほしい。
 今後は認知症高齢者の増加に対する対策にも図書館として貢献できる方法を研究していくべきである。
 障害のある利用者のためのボランティア講座開催を期待する。

【平成29年度事業計画】

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館	
(1)市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館	
H29年度事業計画	・年間図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊 ・年間視聴覚資料購入目標点数115点。内CD100点、DVD15点
(2)老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館	
H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊) ・「図書館年報」(一般用・子ども用)平成28年度版の発行(5月31日) ・図書館管理室を通じ市広報「ほうふ」に毎号定期的に記事を掲載 ・ホームページの整備、充実 ・テレビ・ラジオ等への出演による積極的な広報活動の展開 ・マナーアップキャンペーン(7月1日～8月31日)の実施 ・接遇、危機管理等に関する職員研修の実施
(3)図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館	
H29年度事業計画	・移動図書館車「わっしょい文庫」の運行
(4)調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館	
H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス向上のための職員研修実施 ・レファレンス事例集の作成 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧及び複写業務開始 ・パスファインダー、テーマ別ブックリストの作成

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館	
(1)様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館	
H29年度事業計画	・防府市子ども読書フェスティバル(5月28日)、防府図書館まつり(10月14日)の開催 ・防府図書館利用者懇談会の開催(12月頃)
(2)学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館	
H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館ボランティア養成講座」の開催(2月～3月 4回開催) ・「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催(1月頃開催)

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

H29年度 事業計画	・毎月テーマを決めて行う館内3箇所以上での月例資料展示、ミニ資料展示の実施 ・ビブリアバトルの開催(5月・7月・12月の3回)と周知
---------------	---

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

H29年度 事業計画	・個々の生涯学習グループの特徴的な活動のホームページ上での紹介
---------------	---------------------------------

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H29年度 事業計画	・年間郷土資料収集目標冊数450冊
---------------	-------------------

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

H29年度 事業計画	・防府史料第67集『近松浄瑠璃の本質と総合美的研究』(若月保治・著)の刊行・ホームページへの掲載(3月刊行予定) ・上山満之進関係常設展示の一部展示替え
---------------	---

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

H29年度 事業計画	・春川市立図書館との資料交換事業(年1回、100冊程度交換) ・日本語・日本文化学習のための資料の収集・整理・保存・提供
---------------	---

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

H29年度 事業計画	・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校への支援(学校支援図書利用カードの発行と利用促進) ・学校司書の研修機会や場の提供 ・「地域文庫」、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)の運営 ・公民館長会議での広報活動実施(毎月1回) ・学校図書館関係の研修、会議への参加
---------------	---

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

H29年度 事業計画	・資料相互貸借、レファレンス協力等の積極的展開 ・県立図書館の講師派遣レファレンス研修他、他の図書館や防府市文化振興財団内の他機関と連携した職員研修の実施 ・防府市文化振興財団内連携部会会議の開催(毎月1回、連携事業について検討) ・資料展示やイベント等における防府市文化振興財団内のアスピラートやソラールとの連携(アスピラート「絵本作家 田頭よしたかのおもちゃばこ展」他)
---------------	--

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動推進に係る講演会の開催(「絵本『塩田の運動会』ができるまで」5月28日) ・「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の実施 ・「図書館員による調べる学習に役立つブックトーク」の開催(7月2日) ・児童サービス向上のための職員研修の実施 ・教育総務課と図書館の連絡調整会議を毎月1回定期開催
---------------	---

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア主催の子ども向けイベントにおける図書館職員のブックトーク実施(「おはなしでんしゃ」月2回他) ・「学校図書ボランティアネット・防府」研修会での図書館職員による新刊紹介ブックトーク実施(年3回)
---------------	--

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・点字図書、大活字本、各種視聴覚資料、布絵本の整備とホームページ上での紹介 ・筆談によるサービスと広報活動による周知
---------------	---

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等と連携協力した点訳資料、音訳資料、布絵本等の製作 ・障害者用郵送貸出サービスの推進と広報活動による周知
---------------	--

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

H29年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館におけるボランティア活動実績のホームページ上での紹介
---------------	--

平成28年度年齢別利用者数

年齢	登録者数	貸出者数 (のべ人数)	貸出冊数
0-6	610	4,074	20,393
7-12	2,490	11,385	54,040
13-15	1,641	2,510	10,124
16-18	2,040	2,226	7,458
19-22	2,266	2,177	7,263
23-30	3,526	6,109	23,163
31-40	5,566	22,441	101,956
41-50	5,616	25,736	103,029
51-65	5,309	33,835	122,488
66-	5,380	34,203	124,583
合計	34,444	144,696	574,497

平成28年度分類別貸出冊数

	分類	冊数
一般書	0類 (総記)	4,426
	1類 (哲学)	15,869
	2類 (歴史)	20,825
	3類 (社会科学)	27,245
	4類 (自然科学)	21,986
	5類 (技術.工学)	51,847
	6類 (産業)	12,861
	7類 (芸術.美術)	23,653
	8類 (言語)	4,921
	9類 (文学)	145,384
		計
児童書	0-8類	42,531
	9類	41,757
	E (絵本)	89,660
	紙芝居	3,208
	計	177,156
	雑誌	44,040
	郷土資料	4,768
	外国語の図書ほか	294
	視聴覚資料	19,222
合計		574,497

平成28年度 職員研修実績

月 日	研 修 内 容	参 加 者	会 場
4/6	新規採用職員研修会	2人	防府市公会堂
5/6	職員研修(図書館サービスに関する基礎知識)	8人	防府図書館
6/3	平成28年度図書館新任職員基礎講座	2人	山口県立山口図書館
6/10	平成28年度図書館新任職員基礎講座	2人	山口県立山口図書館
6/11	平成28年度読書ボランティアリーダー養成講座	2人	山口県立山口図書館
6/22	学校図書ボランティアネット・防府研修	2人	防府図書館
7/5	TOOLi講習会	18人	防府図書館
8/2	システム研修会	20人	防府図書館
8/30	図書館・学校図書館セミナー	2人	山口県教育会館
9/6	郷土資料に係るレファレンスサービスについて	13人	防府図書館
9/29	甲種防火管理再講習	1人	防府市消防本部
10/14	図書館の本の修理と製本講習会 中級編	2人	山口県立山口図書館
10/19	児童読書研修部研修会	2人	山口県立山口図書館
11/1	防府市文化振興財団新規採用職員等研修会	16人	防府図書館
11/4	平成28年度公立図書館職員等専門講習会	2人	山口県立山口図書館
12/9	平成28年度公立図書館職員等専門講習会	2人	山口県立山口図書館
12/16	普通救命講習会	22人	防府図書館
12/16	本の修理研修会	15人	防府図書館
12/16	ビブリオバトル勉強会	16人	防府図書館
1/4	チェーン取付講習会	13人	防府図書館
1/13	山口県図書館協会公共図書館部会研修会	4人	山口県立山口図書館
1/19	全国公立図書館研究集会	1人	北九州市立商工貿易会館
2/1	横断検索講習会	2人	防府市役所
2/23	学校図書ボランティアネット・防府研修会	2人	防府図書館
3/3	図書館連携部会研修会	2人	山口県立山口図書館
3/9	自由研究用ブックトークのための研修会	5人	防府図書館
3/15	児童読書研究部会 第2回研修会	2人	山口県立山口図書館